

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 金沢市立千坂小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒920-0002

石川県金沢市千木1丁目125番地

E-mail : chisaka-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/chisaka-e/

児童生徒数：男子 355 名 女 324 名 合計 679 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育（ESD）（国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか（地域）
 そのほか（)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

1年生 「千坂ネイチャーフィールドであそぼう」

本校には「千坂ネイチャーフィールド」と呼ばれる「学校園」が存在している。そこには、栗や桜の木が数本植えられており、雑草が生える野原も存在する。すぐ横は、休耕田となっており、子どもたちが安心して虫取りなどできる場所となっている。4月に、ネイチャーフィールドへ出かけ、春見つけをした。一面タンポポが生えているネイチャーフィールドを見て、子どもたちはその数の多さに驚き、自然を感じ取ることができた様子だった。秋になると、「虫と遊ぼう」をいうテーマでネイチャーフィールドで思い切り遊んだ。歩く度に、トノサマバッタやオンブバッタが跳んだり、コオロギの鳴く声がしきりと聞こえてきたりして、自然とふれあうことを十分に楽しんだ。また、アサガオのリース作りでは、ネイチャーフィールドで見つけたススキや葉っぱをつけて、秋らしさを表したり、お互いに教え合ったりすることができた。一年を通し、ネイチャーフィールドで活動する中で、季節の変化や自然と親しみ、ネイチャーフィールドを大切に思う気持ちが芽生えてきた。

2年生 「ネイチャーフィールドの仲間たち」

生活科の学習で、春、夏、秋、冬の季節ごとに「ネイチャーフィールド」たんけんを行った。季節ごとに会える虫は様々であり、毎回、楽しそうに虫と遊ぶ様子が見られる。子供達はバッタ、カマキリ、コガネムシ、ダンゴムシ、テントウムシ、チョウやトンボなど様々な虫と楽しそうに遊ぶことができた。用水の中で、ザリガニを見つけると、子供達同士でザリガニ取りのテクニックを教え合い、仲良く関わり合う様子も見られた。虫と関わる中で、単に虫取りを楽しむだけではなく、正しい名前や体のひみつなどを調べてみたいという声もでて、意欲的に自然に関わろうとすることができた。校区内に残る豊かな自然環境を理解できたことで、3年生から始まる総合的な学習の時間につなげることができた。

3年生 「千坂レンコンをさぐろう」

3年生では、毎年、地域の特産物であるレンコンを題材にして、学習に取り組んでいる。今年度は単にレンコンを育てて、食べるという活動で終わるのではなく、ESD教育の観点から、地域のレンコンに愛着を持ち、千坂に残るレンコン田を大切に守り続けようとする心情を育てたいと考えた。そこで、例年以上にレンコン名人さんと深く関わることにした。レンコンのたね植えを指導していただいているからは、登下校で名人さんと出会う度に自然とあいさつする児童が増え、元気に「お疲れ様！」と声をかける児童がたくさん増えた。レンコン名人さんを身近に感じるとともに、地域のレンコン田にも興味を持ち、日々の成長の様子に関心を持って観察し続けることができた。また、名人さんのお話から、レンコン田へのいたずらや害虫であるアブラムシの対策に苦労されていることを知った子供達は、名人さんの力になりたいと、自分たちができることを話し合うようになった。そして、全校集会で、全校のみんなにレンコン田へのいたずら防止を呼びかけたり、害虫対策となる

アルミ缶集めの協力をお願いしたりすることができた。地域のレンコン田を守るために、自分たちができることは何なのかを真剣に考える子供達の姿が見られ、E S D教育につながる学習とすることができた。秋には、収穫したレンコンを用いて、親子でレンコンパーティを開いて収穫の喜びを感じることができた。

4年生 「住みよい町 干坂」

社会科で学習したごみ処理や水の浄化に関する学習と関連させて、総合的な学習の時間には、「住みよい町 干坂」をテーマにして、身近な環境問題に取り組んだ。ごみ焼却場や不燃物の埋め立て場、リサイクルセンターなどの社会科見学を通して、金沢市が抱えるごみ問題について理解を深めた子供達は、ゴミを減らすために自分たちにできることは何なのかについて考えた。また、学校周辺に広がる水田やれんこん田を潤す用水路について調査するなかで、きれいな用水を守っていききたいという意識を持つことができた。

5年生 「レンコン田のひろがる町」

5年生では、まず、加賀レンコンそのもののよさや特徴について学習する活動をした。3年生の学習をふり返り、レンコンの栽培法や干坂でレンコンが大切に栽培されている理由について学習した後、学習の範囲を「加賀野菜」に広げて調べる学習を展開した。それぞれの加賀野菜の特徴やその歴史、どのように調理され食べられているのか等について調べた。内容ごとにグループでまとめ、ワークショップ形式で発表、し交流することができた。レンコンしか知らなかった児童が、この学習をきっかけに金沢独特の野菜について知識を深め、加賀野菜を大切にしている生産者の思いにも触れ、金沢について学ぶことができた。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

- 大変効果的な活動ができ、大変満足。
- 効果的な活動ができ、満足。
- 効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

従来の教育課程を基にして、E S Dの視点からカリキュラムを加筆・修正して活動してきました。E S Dカリキュラムを作成するとともに、E S Dカレンダーも教師自身の手で作ることで、各教科と総合的な学習の時間とのつながりを

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

■ 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

地域のレンコン名人さんをゲストティーチャーに招聘したこと。

学習発表会を、授業参観を活用して行い、保護者や地域へ取り組みの発信をしたこと。

□ 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

□ 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)

□ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)